

メキシコ ソノラ州のブドウが不作で米国の小売りが品不足

FreshFruitProtal 2023年6月2日

米国アリゾナ州ノガレス市に本拠を置くディバインフレーバー社の営業担当副社長であるカルロス・ボン氏は、6月に入ってから米国の多くの小売店の棚で販売するブドウがないと嘆く。

同氏は6月1日に本サイトに対し、この冬と初春に通常より寒い天候が続いたため、メキシコのソノラ州産のブドウが遅くなることは3月に予想されていたと説明した。しかし、まったく予想外だったのは、現在の寒い天候である。同氏は、6月1日の朝、アリゾナ州との国境に近く、ソノラ州の主要ブドウ産地であるカボルカ地域の気温が55F(12.8℃)であったと指摘した。

同社の親会社であるグルッポ・アルタ社は、メキシコで唯一、国内のすべての商業的ブドウ産地で生産を行っているブドウ生産者である。同氏は、ソノラ州の全てのブドウが遅れていると述べた。

南部では、ハリスコ州の今春の早生のブドウ販売は大成功を収めた。同社は4月初めから5月23日に最後のトラックが出るまで、ハリスコ州から特産の品種を出荷した。高品質なハリスコ州産の果実は、6月に向けての小売需要を高めた可能性がある。南米産のブドウの出荷は終了しており、ボン氏が指摘するように、短期的にはブドウの供給が非常に不足している。同氏は小売業者に対し、6月中旬に供給が増えるまで、ブドウを目立たせず控えめな売り方をすることを勧めている。

メキシコ産のブドウは全ての色と品種で、シーズンを通じて一箱当たり40ドル以上の出荷価格がついた。価格はそれほど問題ではなく、供給が問題だとボン氏は強調する。米国の小売店でのブドウの価格は、6月初旬には1ポンド(約454g)当たり2.99ドル～4.99ドルの範囲で推移している。

フレイムシードレスは、ソノラ州で最も多く生産されている品種である。この品種は、粒が小さく、大きさが不均一であるという生産上の問題があり、18ポンド箱を満たすために多くの房が必要である。今年の春の業界の見通しでは、フレイムの推定出荷量は650万箱と比較的少なかった。ボン氏は、フレイムの粒が小さいため、ソノラ州が500万箱以上を出荷できれば「幸運だろう」と予想している。

ソノラ州の他のブドウ品種は、サイズ、品質、状態が良好である。ボン氏は、出荷が遅いことは品質にとっては良いことだが、残念ながら我々が望む以上に遅いと述べた。

エキサイティングなことが起こる

しかし、同氏は「すぐにエキサイティングなことが起こるだろう」と言う。スイートグローブ品種とスイートセレブレーション品種は、「素晴らしい」年になりそうだ。ガミーベリー品種は12日後に市場に出ると見込まれる。広く人気のあるコットンキャンディ品種は、ボン氏によれば6月25日頃までに入荷する。

緑色の種無しブドウが6月1日から出荷されている。赤ブドウは、6月10日頃から市場に入荷する。

大変難しい年

同氏は、「もし今、魔法のランプを持っていて、ブドウ(の仕入れ値)が25%安くなるか、在庫があるかを選べるとしたら、在庫がある方をすぐ選ぶ。大変難しい年になっている。弊社にとって重要なことは、バイヤーとのコミュニケーションを保ち、タイムリーに情報を提供し続けることである」と述べた。

そう言いつつも、ハリスコ州産の取引は非常に順調に進んだ。オータムクリスプは、ハリスコ州で生産されている新しい主要品種で、ボン氏がこれまでのブドウの品種の中で最も気に入っているものである。オータムクリスプは商業的に大成功している。